

11月研修会(蔵王ハイツ)フリートーク記録より

共通話題「先生方とのコミュニケーション」について、各グループで行われた話し合いの記録の中からの抜粋となりますが、次のとおり報告いたします。

◎ 法令改正等各種の情報を提供する・・・

- ・ この手の情報を一番入手しやすいのは事務職員であり、内容を詳しく知る機会（研修等）が多いのも我々事務職員である。これらを先生方に伝えることは必要と思われる。
- ・ 内容により、先生方が知っておくべきだというもののみを知らせている。
- ・ 打合せで知らせている。（併せて印刷物等を配布している方もあり）
- ・ 職員会議で説明している。
- ・ 職員会議で説明しても内容をよく理解してもらえない場合は、個別に説明することもある。
- ・ 内容が先生方に直接関係し、理解を要するものについて、夏休みに研修会を開いたこともある。
- ・ 事務だよりやチラシを作成し、配布している。その場合も読んでもらえるよう工夫している（色上質紙に印刷したり、時数が多くなりすぎないように注意したり、ワープロと手書きを使い分ける等々）。
- ・ 内容が複雑なものについては、文書を回覧している。
- ・ 掲示板に掲示している。
- ・ コピー機や印刷機のところに掲示している。（結構効果がある）
- ・ 教頭が回覧板を作って回している。

◎ 情報を収集する・・・

- ・ 先生方に「面倒くさい」と思われなくなるまで、定期的に「手当が変更になるような場合は教えて下さい」等と呼びかけている。
- ・ 「手当の変更になるような事はありませんか」と給料袋に印刷している。
- ・ 雑談の中からのいろいろな情報を仕入れるという発言が多い。
- ・ 学校規模や事務室の有無にもよるが、職員室で仕事をしているのであれば、仕事をしながら先生同士の会話に耳を傾けていると様々な情報が入ってくる。

- ・ 本人からではなく、まわりの先生から情報が入ってくることも多い。
- ・ 休み時間等に先生方がお茶を飲む時には、仕事の手を休めて話の輪に入るようにしている。
- ・ 個人的なことにまで立ち入らなければならない場合、信頼関係がないと、仕事だと割り切ることが難しい。

◎ 書類等の提出を促す・・・

- ・ 書類提出が遅れそうな先生には、こちらから働きかける。
- ・ 給料袋に「～について提出期限が近いので・・・」というチラシを入れたりしている。（給料を袋ごと家に入れている先生の場合、家族の方が関係書類等を準備してくれたり、声掛けしてくれることもあります）
- ・ 各種書類を下書きして、用紙を配布したこともある。（先生方対し過保護になっているのでは、と心配ではあるが・・・）
- ・ 年末調整に関しては、あらかじめ、「保険料等の金額」等の資料を配布し、書類の記入がスムーズにできるようにしている。
- ・ 年末調整に関しては、設定した締め切りまでに種類の提出がなされないのは、自分の事なのだという意識が低いと思われるので、遅れた場合は、自分で確定申告をしなければならなくなる旨まで話している。
- ・ 書類が提出されないことによって、もらえるはずの手当等がもらえないのは、本人の責任であると思うが、私たちも事務の仕事に携わっている以上、無関心でいるわけにはいられないと思う。

◎ 仕事に限らず

- ・ こちらから積極的に情報を提供すれば、先生方からも情報が集まりやすくなるのではないかな。
- ・ 先生方が気軽に質問できる雰囲気を普段からつくっておく必要がある。
- ・ 放課後などにスポーツを通して先生方と良い関係を築いている。
- ・ 事務室で仕事をしている場合は、ちょっとした用件でも職員室に出向き、くようにし、先生方から話しかけられる機会を多くする。
- ・ 先生方と忙しい時期が違うので、そのあたりもコミュニケーションを図りにくくしている一因と思われる。

- ・ 話を伝える場合、学年主任等を通して話した方が伝わりやすい事もある。
- ・ 普段から先生方に信頼されることを心がけ、先生方から何でも話してもらえようになると一番良いと思う。
- ・ 仕事は仕事として割り切り、必要なときには先生方に指導するようにしている。そうすることにより、信頼を増すこともできると思う。
- ・ 若いときは、教員・事務関係なくとけ込めたが、経験・年齢を積むに連れコミュニケーションの取り方が難しくなった。
- ・ 仕事の話だけでコミュニケーションを図るのは難しい。普段、仕事以外のこともよく話をしていると、仕事の話もしやすい。
- ・ 特に「コミュニケーション」について意識する必要はないと思う。意識するあまりにギクシャクしてしまうこともある。
- ・ 話し方にも工夫をしている。
- ・ 穏やかに話すよう心がけている。
- ・ 相手の人によって口調を変えるのは、良くない。
- ・ 学年部の夜の部に誘ってもらったときは、なるべく参加している。
- ・ 飲み会の時には、先生方と一緒に出し物を出している。
- ・ 人に対する好き嫌いは、多かれ少なかれ誰でもあると思う。しかし、先生方の中に自分の苦手とするタイプがいても、最小限のコミュニケーションは必要となる。そういう場合は、仕事と割り切るしかないのかなあ。
- ・ 性格、仕事が違うと割り切り、学校に必要な人だと思われるように自分の力を高めていく努力も必要だと思う。
- ・ 事務のプライドを持ちましょう。その分、勉強も必要ですが…。
- ・ 先生方と対等の立場にあるのだから、言うべき時には自分の意見を言うようにしている。
- ・ 事務職員をやっているのは、もったいないと言われるようになりたい。

以上、賛否いろいろと感ずるところがあるかとは存じますが、会員の皆様のご参考になれば幸いです。

(研修部)